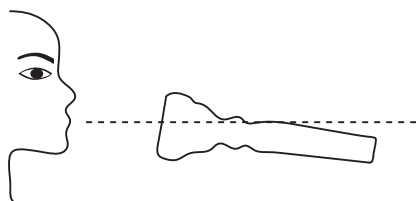


■ アンブシュア



アンブシュアとは楽器を演奏する時の唇のまわりの形のことを言います。口をとがらせたり、唇の両端を強く引きすぎたりしないように注意が必要です。また、ほほをふくらませた状態でも音は出せませんが、良い響きを得られにくいので、ほほの内側や歯茎についていることを確認しましょう。人それぞれ唇の形や歯並びが違うように、アンブシュアも個人差はありますが、おおそチューバ演奏に適した形があります。また、外から見えない部分（例えば、口の中では、上下の歯の間にすき間を作ることや、その上下の歯という「土台（台座）」の上にある唇の振動など）も大切ですので、写真やイラストを参考に鏡を見ながらアンブシュアを作ってみましょう。

マウスピースの角度



マウスピースのサイズについて

マウスピースにはカップの容量、リムの内径などを表す文字が刻印されています。上達するのに合わせて、自分の好みや演奏の目的に合ったマウスピースを選びますが、初心者のうちは真ん中位のサイズから始めるのが良いでしょう。

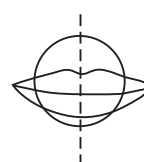
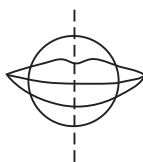
マウスピースをあてる位置

(左右の関係)

出来るだけ中央が理想ですが、唇の形や歯並びなどで個人差があります。音の出しやすい場所を探しましょう。

(上下の関係)

上下は、上の唇、下の唇の中心位置より少し上になります。



■ 奏法のチェックと楽器のチューニング

◆マウスピースでの練習

マウスピース（もしくは唇）のみで音を出すことをバズィングといいます。マウスピースは指先で軽く持ちます。にぎりしめて持つと必要以上に強く力が入ってしまいますので注意しましょう。実際に楽器で音を出したときの抵抗感に近づけるためハンカチなどで軽くふさぐようにするのも良いです。

- ① 出しやすい音をのばしてみましょう。
- ② 音の高さや強さを変えてみましょう。

マウスピースでのピッチ、音程が自由にコントロールできますか？



マウスピースで簡単なメロディを吹いてみましょう。

- ③ マウスピースで下記の楽譜の音が出せるかチェックしましょう。



◆楽器のチューニング

ハーモニーディレクター (HD) を使った音合わせ

※ HD のトランスポーズを C に設定してください。



- ② 音程のチェック



B^bチューバの第4抜差管を調整